



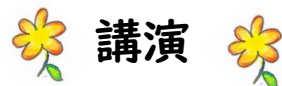
令和6年度 くらす部会・権利擁護ワーキング合同研修会

『避難しない選択をするのはなぜ？』

令和7年2月13日 in赤磐市消防本部



AMDAの難波副理事長をお招きし、被災地で実際に起こっている現状を伺う講演をしていただきました。
またグループワークでは、参加者52名がそれぞれの立場で有事に備えてできることを一緒に考えました。



講演

『AMDAの活動から見える避難所の現状』



AMDAの活動を通して伝えたいこと
『生きることに憶病になってはいけない、
「助けて」と言う、
死ぬな!』ということ。

特定非営利活動法人AMDA
副理事長 難波 妙 氏



参加者からの感想



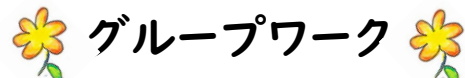
<講演>

- 生きることをもっと考えたいと思った(当事者)
- 厳しい現実にも苦しくなるような内容でもありましたが、改めて日ごろから意識しておくことが大事だと思いました(支援者)

○もっと話をききたかったです。また機会を作ってください(支援者)

<グループワーク>

- 現状が少しわかった(当事者)
- 色々な意見、特に当事者意見が近にきけて良かったです(支援者)
- 事実、避難できるかどうか分からない等の意見から、どうしたら避難できるのかなど、少し前向きになれるグループワークができた(支援者)



グループワーク

『災害時のために備えていることは?』をテーマに
情報共有を兼ねたグループワークを行いました。



質疑応答では

- 避難のタイミングや自助について、難波副理事長から経験をふまえた説明がありました。
- 福祉避難所について、赤磐市くらし安全課から説明がありました。



まとめ



自助をどれだけやっているか!
災害の時だけ助け合うことは出来ない
日ごろから近所、行政とどれだけつながっておけるか!!

